

神奈川県ソフトバレーボール委員会
理事長 秦 博一

9月13日（日）海老名市総合体育館において、「ソフトバレーボール交流練習会」（参加28チーム）を開催しました。常任理事会（web会議）を重ねた結果、感染対策を施した競技が確定されていない事と、各チーム練習が思うようにできない状態である事から正式な大会ではなく、「交流練習会」と致しました。

神奈川県より、8月までのイベント自粛を受け、9月13日に練習会を開催することは決定してはありましたが「新型コロナウイルス感染症」の終息がみえず、開催にあたり役員間でも意見の相違はございました。ただ、近隣の大和市海老名市、厚木市が「練習会」を開催しており、その内容を参考にして神奈川県ソフトバレーボール委員会としての感染対策を施した「練習会」を行う事は、今後の近隣他市への規範となり神奈川県内のソフトバレーボールに有益になると判断して、開催に至りました。

新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁、日本スポーツ協会、神奈川県、（公財）日本バレーボール協会各ガイドラインを遵守し、海老名総合体育館にあったガイドラインを海老名市協会と作成しました。

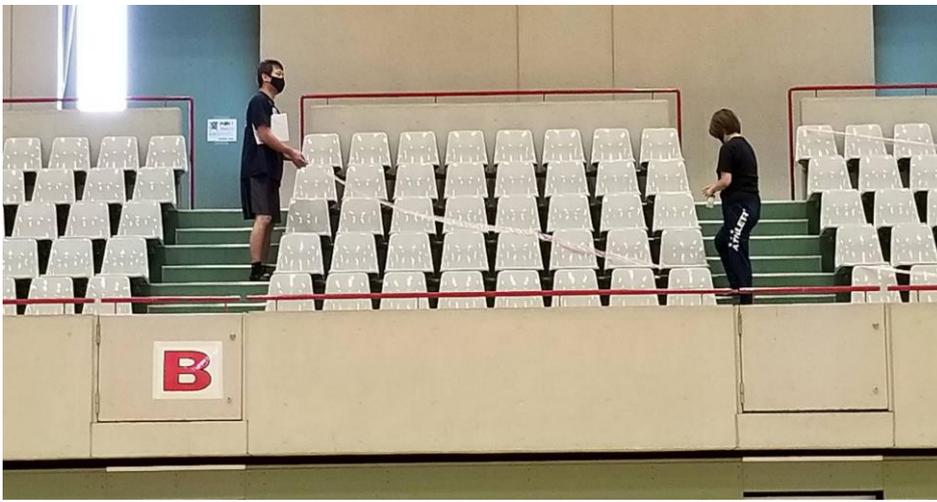
今大会で選手やチームから「試合がしたかったので大変嬉しかった」とお礼や賛同の意見を多数いただいております。「感染対策」を施した大会は、役員のみならず参加者にも協力してもらわなければ安全な大会とは言えません。今大会大多數の参加者は、感染対策に積極的に協力して、トラブルも一切発生しておりません。

10月4日（日）には、神奈川県と弊組織共催の「シニアフェスタ」を県立スポーツセンターで開催する予定です。「新しい生活様式」に対応した大会を、少しずつ進めていきたいと思っております。



受付

換気を考えて、体育館外
フェイスガード、マスク
ソーシャルディスタンス
ガイドラインに沿った「チェックリスト」
は参加者全員分提出しますが、さらに
非接触型体温計で、参加者全員を検温



観客席は、蜜にならないよう
に非着席のゾーンをテープで仕切る



設営時、掲示板、ポール、ネットも消毒
撤収時も、同様に行った。



コートごとに、消毒液、
ペーパータオル
ビニール手袋、ゴミ袋を配置
ボールは、セット、タイムアウト等
で常に消毒した。



開会式

蜜を避けて、選手はスタンド着席で整列しない方式。



得点掲示員と線審は、ビニール手袋を着用
1試合終了ごとに、ゴミ袋に廃棄した。

主審・副審は電子ホイッスルとビニール手袋



蜜を避け、コート間も広くとり、プレーヤー以外は全員マスクを着用

